

1. 学会関連情報

○第2回日本放射線安全管理学会・日本保健物理学会合同大会（12月4日（水）-7日（土）、仙台）開催のご報告と御礼

全会期の総数で国内外からの500名を超える方々にご参加いただきました。盛会となりましたこと厚く御礼申し上げます。参加者数の速報値は以下です。

12/4 YGN Workshop: 13カ国から78名、12/5-7 学術大会: 486名（参加者463名、招聘者23名）

若手によるWorkshop、IRPA加盟学会からの参加者との国際的な視点でのセッション、日本放射線安全管理学会との合同大会と濃い内容の4日間の会期中どの部屋でも議論や意見交換で盛り上がっておりました。この流れを次のステップにつなげていくことを願って次の山西大会長にバトンを渡します。

（大会長 東北大学 吉田浩子）

○IRPA15（ソウル）のポスター発表の申し込み締切（12月31日）が迫っております。

（<https://www.irpa2020.org>）

2. 関連する研究情報

論文紹介

○Occup Environ Med. 2019 Dec 2. doi: <https://doi.org/10.1136/oemed-2019-105902>.

[Epub ahead of print]

放射線白内障と白内障手術の過剰相対リスクを評価した初めての論文。米国診療放射線技師コホート（白内障は11354例・追跡83万人年、白内障手術は5440例・追跡89万人年）での過剰相対リスク（EAR/1万人年 Gy）は、自己報告放射線白内障が100 mGy未満で有意に直線的に増加（50 mGy未満では非有意）、自己報告放射線白内障手術は非有意。自己報告放射線白内障の過剰相対リスクは、糖尿病患者と75歳以上の高齢者で特に増加。

Occupational radiation exposure and excess additive risk of cataract incidence in a cohort of US radiologic technologists.

Little MP et al.

<https://doi.org/10.1136/oemed-2019-105902>

○Disaster Med Public Health Prep. 2019 Nov 29:1-8. doi: 10.1017/dmp.2019.132.

2016年8月に福島県民2000名を無作為に抽出した質問紙調査で、放射線健康不安と情報源(全国紙や地元紙、ソーシャルメディア等、12項目)との関連を検討。口コミやSNSで放射線に関する情報を得ていることは、より高い放射線健康不安を有している一方で、NHKから情報を得ていることは低い不安であった。

Relationship Between Use of Media and Radiation Anxiety Among the Residents of Fukushima 5.5 Years After the Nuclear Power Plant Accident

Fukasawa M et al.

<https://doi.org/10.1017/dmp.2019.132>

○J Radiol Prot 39(4), 1092-1104 (2019)

避難指示が解除された10市町村の居住者(239名)に対して個人線量計を用いて2週間外部被ばくを測定した。年間で平均0.9 mSv(最小0.44 mSv, 最大4.33 mSv)となり、空間線量とも相関があった。

Low dose of external exposure among returnees to former evacuation areas: a cross-sectional all-municipality joint study following the 2011 Fukushima Daiichi nuclear power plant incident

Nomura S, Murakami M, Nation W, Yasutaka T, Sawano T, Tsubokura M

<https://iopscience.iop.org/article/10.1088/1361-6498/ab49ba>

○Health Phys 118(1), 79-80, 2020

1996年に採択されたステートメントの3回目の改訂版として、引き続き100mSv以下のリスク推定の限界を強調している。80年間で平均250mSvの自然放射線被ばくを受けること、また疫学的・生物学的観点から、LNTモデルを用いた将来リスク予測が適切でないとしている。

Position Statement of the Health Physics Society PS010-4 : Radiation Risk in Perspective

Health Physics Society

<https://journals.lww.com/health->

[physics/Fulltext/2020/01000/Position_Statement_of_the_Health_Physics_Society.8.aspx#pdf-link](https://journals.lww.com/health-physics/Fulltext/2020/01000/Position_Statement_of_the_Health_Physics_Society.8.aspx#pdf-link)

3. ニュースや社会の動き

○ICRPが2019年11月15日から17日に開催した主委員会会合の概要を公開

<http://www.icrp.org/admin/Summary%20of%20Nov%202019%20Main%20Commission%20Meeting%20Adelaide.pdf>

○NCRPが2020年3月23日から24日に開催する年会のプログラム概要を公開

https://ncrponline.org/wp-content/themes/ncrp/PDFs/2020_Ann_Mtg/2020_Summary.pdf

○日本医学放射線学会 「診療用放射線に係る安全管理体制に関するガイドライン」等の改訂版を公開。(11月29日)

http://www.radiology.jp/member_info/guideline/20191129_01.html

○厚生労働省 茨城県に対し、茨城県高萩市、北茨城市及び城里町で産出された野生キノコ類について出荷制限を指示。(12月3日)

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_08173.html

4. これからのイベント

○ICRP International Conference on Recovery after Nuclear Accidents: Radiological Protection Lessons from Fukushima and Beyond、2020年11月30日から12月4日、福島市(第一報)

<http://www.icrp.org/page.asp?id=454>

5. 公募情報、学生・ポスドク受入情報

○公益財団法人原子力安全技術センター 正職員

放射線施設の検査等、原子力安全の確保及び 原子力防災に関する業務 若干名(任期無)

(〆切:1月6日 消印有効)

<https://www.nustec.or.jp/saiyou/pdf/bosyu-64.pdf>

○長崎大学原爆後障害医療研究所附属放射線・環境健康影響共同研究推進センター 資料収集保存・解析部資料調査室(原研情報室) 助教(任期有)

(〆切:1月16日 必着)

https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=3&id=D119120245&ln_jor=0

既発行の Newsletter はこちらです。

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/newsletter/page.cgi>

Newsletterにて会員に有益な最新論文やイベント情報等の発信を希望する情報をお持ちの方は、学会事務局へご連絡・お問い合わせください。

— —

【発行】一般社団法人日本保健物理学会

【編集】同広報担当 Newsletter 作成グループ

【発信元】同学会事務局

TEL: 03-6205-4649 FAX: 03-6205-4659

E-mail: exec.off@jhps.or.jp

— —